

例会報告：2017年2月28日（晴れ）

第1970回 通常例会

❖ 結婚記念日

内山 修一さん（3月1日）
大野 英明さん（3月4日）

❖ ニコニコ箱

大川 裕 委員

| | ニコニコ箱 | 累計 | 目標 |
|--------|--------|---------|-----------|
| 2月28日分 | 26,000 | 556,235 | 1,200,000 |

* ビジター

梶原 宏氏様（小田原RC）…はじめておじゃまを致します。どうぞよろしくお願い致します。

* 結婚記念日

内山 修一さん…結婚記念祝有難うございます。あつという間の30年でした。

柳井 涉さん…結婚記念を祝っていただきありがとうございます。忘れてました。

* 奥様誕生日

小川 和夫さん…奥様誕生日のお花ありがとうございます。

* Welcomeメッセージ

辻村 彰秀さん…ウエルフェアポート湘南の関水さん、スタッフ、ワンちゃん、本日は宜しくお願いします。

村瀬 雅實さん・須藤 公司さん…本日はウエルフェアポート湘南のみなさま、ありがとうございます。卓話と犬たちの実演をたのしみにしています。

社会奉仕委員会一同…本日の卓話楽しみにしています。

* その他

鈴木 友徳さん…本日をもちまして52年間の社長を退任します。ロータリーにはまだまだおりますので、よろしくお願い致します。

大谷 宏さん…先週の火曜日、小田原ハローワークで講演しましたが、ご多忙のところ当クラブ会員、露木清勝さん、小林和彦さん、ご参加頂きましてありがとう。当日は70名以上の参加で盛況でした。

上田 博和さん…この3月で無事に東京農大の大学院を卒業できる事となりました。この2年は毎週あばしりまで通っていましたが、通わなくてよくなりましたので、これからは休みなく出席出来るようにがんばります！

一寸木 芳行さん…息子の大学受験が無事終わり一安心です。

■ ■ 今後のメークアップ情報 ■ ■

-2017年3月-

- ▶8日（水）小田原北
- ▶9日（木）小田原中 報徳会館 12：30
- ▶10日（金）湯河原 ニューウェルシティ湯河原 12:30
「会員による卓話」
- ▶10日（金）足柄 おんりーゆー 12：30
「クラブフォーラム：会員増強・維持」
- ▶13日（月）小田原 報徳会館 12：30
「卓話：プログラム委員会」
- ▶14日（火）箱根 宮ノ下富士屋ホテル 12：30
- ▶15日（水）小田原北
- ▶16日（木）小田原中 報徳会館 12：30
「クラブ協議会⑤」
（規定審議会変更事項に伴う細則変更について）
- ▶17日（金）湯河原 ニューウェルシティ湯河原 12:30
「出前講座④」
- ▶17日（金）足柄 おんりーゆー 12：30
「卓話：PETSを終えて 会長エレクト」
- ▶20日（月）休日休会
- ▶21日（火）箱根 宮ノ下富士屋ホテル 12：30
「卓話 会長エレクト」
- ▶22日（水）小田原北
- ▶23日（木）小田原中 休会
- ▶24日（金）湯河原 ニューウェルシティ湯河原 12:30
「55周年記念式典」
- ▶24日（金）足柄 おんりーゆー 12：30
「卓話：国際奉仕」
- ▶27日（月）小田原 報徳会館 12：30
「卓話：プログラム委員会」
- ▶28日（火）箱根 宮ノ下富士屋ホテル 12：30

【小田原城北ロータリー・クラブ】
事務局：〒250-0211 小田原市鬼柳172-9
電話：0465-37-1222 FAX：0465-37-7377
URL：http://www.odawarajhrc.jp
Mail：info@odawarajhrc.jp
例会場：小田原卸センター内会議室
創立：1976年4月2日 承認：1976年5月8日
例会：毎週火曜日 12:30～13:30
クラブ会報委員会
監修：櫻井 康二
編集長：小林 和彦
コピーライター：小林 和彦
デザイン：小林 和彦
フィールド：大川 久弥

会員数：36名



RAC
会員募集中

相応しい会員をご紹介ください！



国際ロータリー第2780地区

小田原城北ロータリー・クラブ

R.I. DISTRICT No.2780
ODAWARA JOHOKU R.C.
2016-2017
WEEKLY BULLETIN



【R.I. 会長】
ジョン・ジャーム
【R.I. 2780地区ガバナー】
佐野 英之
【第9グループガバナー補佐】
高田 喜好



【会長】辻村 彰秀
【副会長】阿久津 馨
【幹事】櫻井 康二
【副幹事】荻野 善明
【会場監督】小川 和夫

人類に奉仕するロータリー

ROTARY SERVING HUMANITY

本日の例会：通常例会（第1971回）

会場：小田原卸センター内会議室
日時：2017年3月7日 12：30～13：30
司会：荻野 善明 副幹事

| | |
|-------|--|
| 12：30 | 開会点鐘：辻村 彰秀 会長 国歌斉唱 ロータリーソング斉唱 「奉仕の理想」 スピーカーおよびビジターの紹介 慶事祝福 会長挨拶 幹事報告／出席報告／委員会報告 同好会報告／ニコニコ箱 閉会点鐘：辻村 彰秀 会長 |
| 13：00 | 卓話：山内 英嗣様 「遠隔医療を基軸とした街作り構想」 |

【今後の例会・卓話スケジュール】

3月14日（火）夜間例会（お花見例会）
受付：18：00～18：20
例会：18：20～18：50
小田原市民交流センターUMECO
会議室5・6
宴会：19：00～21：00
ダイニングWABITO
会費：R会員 2,000円
Rアクト 2,000円

3月21日（火）通常例会 12：30
卓話：弁護士 宇田様
「犯罪被害者支援活動について」

3月28日（火）通常例会 12：30
クラブ協議会（PETS報告）

■寄稿（14）

1905年（明治38年）と言えば、ロータリアンならば誰でもロータリーの誕生した年と知っていますが、この年に物理学者であるアルバート・アインシュタインが、それまでの常識を完全にひっくり返す学説“特殊相対性理論”を発表しました。その後1911年にはじめてこの理論が日本に紹介され、アインシュタインの革命的な世界観・宇宙観が人々をおどろかせた訳です。この偉大なアインシュタインが1922年（大正11年）に日本に来場され、約6週間日本に滞在し各地で講演を行ったのです。

アインシュタインが日本ではじめて一般向けの講演を行ったのは、慶應義塾大学で、学者学生から一般の婦人まで2000人も人が集まり、5時間以上の講演にもかかわらず、聴衆は物音ひとつ立てずに熱心に耳を傾けたいといひます。アインシュタインは「繕いのあるズボンに平気ではき、穴があくからと靴下をはかない。」「一等車をきらい、用意された部屋や料理が贅沢すぎる。」とクレームを

つけた。「従者（おとも）や人力車をきらい、荷物を常に自分で持った。」「出かける時には宿屋の下男たちにもいちいち丁寧なお辞儀をした。」「うぐいすばりの廊下や虎のふすま絵を子供のようによこんだ。」と日本滞在中のエピソードが数多くあります。

素顔のアインシュタインには、権威や不合理な常識をきらい、あらゆるものに平等に視線を向け、好奇心を向け、そして常にシンプルで本質的なものを求めた。この“平等に”というところが、ロータリーと同じ基盤ですね。これこそが相対性理論を生んだバックボーンであり、アインシュタインの魅力であり、そしてロータリー精神にも通ずるところが多くあると思います。

まことに1905年（明治38年）という年は、いろいろなことがありました。日本ではロシアのロジェストウエンスキーひきいるバルチック艦隊と戦った年です。

大谷 宏

例会報告：2017年2月28日（晴れ）

第1970回 通常例会

会場：小田原卸センター内会議室
日時：2017年2月28日 12：30～13：30

◆ 会長挨拶



辻村 彰秀 会長

皆さん、こんにちは！ 例年より3週間は早く1月末に咲き出した松田山の早咲き桜もすでに散り始め、松田町に来る観光客もまばらになりました。3月12日の桜祭り終了までの2週間、どうなるのか心配している今日この頃ですが、本日も元気にやっていきたいと思っております。今日で2月も終わり、明日から3月となります。3月は年度替わりの月で、人事異動や卒業式、送別会等が行われ、4月から始まる新年度に準備する月です。又、弥生と別名で呼ばれる月です。弥生の由来は草木がいよいよ生い茂る月という意味の「木草弥や生ひ月（きくさいやおひづき）」が詰まって弥生になったそうです。当クラブにおいても、3月中には新入会員増強の準備を行い、6月末までの残り4か月の間に4名以上の新入会員を増強したいと思っておりますので、会員の皆様の前向きなご協力宜しくお願いいたします。

本日は 社会奉仕のクラブフォーラムとなります。茅ヶ崎の特定非営利活動法人ウエルフェアポート湘南の関水さんとスタッフの皆さんによる介助犬、聴導犬のデモンストレーションおよび卓話です。2年まえより毎年支援させていただいておりますので、皆さんもよくご理解しているとは思いますが、盲導犬とは違います。介助犬とは肢体不自由な方々をサポートする補助犬で、物を拾ったり、ドア窓の開閉をしたり、歩行援助を行います。その方の障害の度合いや、必要としているサポートが人により異なるので、その方に合わせた介助犬を育成されておられます。一方、聴導犬とは、聴覚障害者の耳となり、その方が安全により過ごしやすい生活ができるように、音がしたときに障害者の方に伝えるよう訓練されています。聴導犬も介助犬同様、ユーザーの方々の障害度合い、生活が異なるので、やはりその方に合わせた聴導犬を育成されておられます。本日の卓話にて詳しくご説明したいと思います。又、4月頃に小田原駅アークロードにて支援募金活動を行いたいと思っております。是非、その際にはたくさんの方の会員皆様のご参加をお願いいたします。ロータリーは単年度事業が多いのですが、このような有益な活動は継続して実施することが必要だと思います。

まだ、寒さも続くようですので、風邪をひかぬよう、体調には十分ご注意ください。以上、会長挨拶でした。ありがとうございました。

◆ 幹事報告



櫻井 康二 幹事

- 1)お花見例会の会費納入がまだの方は宜しくお願いします。
- 2)次週、第9回定例理事会が開催されます、理事の方は出席宜しくお願いします。

◆ 出席報告

本多 純二 委員

| 出席報告 | 会員数 | 出席 | M.U | 出席率 |
|-------|--------|----|-----|--------|
| 2月28日 | 36(33) | 25 | 1 | 78.79% |
| 2月21日 | 36(33) | 21 | 0 | 63.64% |
| 2月14日 | 36(34) | 24 | 1 | 73.53% |

【欠席者】：8名

大木 清、清 康夫、石崎 孝、齋藤 永、木村 啓滋、大野 英明、長田 英一、大高 英之

【今回MU】1名

石崎 孝 (2/14 地区引継ぎ)

【前回MU】増加なし

【前々回MU】増加なし

◆ Table flower

- チューリップ
- ストック
- スプレーカーネーション

【花言葉】

チューリップ：「思いやり」

ストック：「愛情の絆」

スプレーカーネーション：「情熱」



◆ 卓話

「介助犬・聴導犬の育成 補助犬たちの可能性と現状」



ウエルフェアポート湘南
理事長・関水 俊明 様

私たちはNPO法人で介助犬・聴導犬の育成をしています。現在日本に盲導犬は966頭いますが、介助犬は全国で74頭、聴導犬は67頭しかいません。そのうち我々が関わった介助犬は10頭、聴導犬は1頭です。少ない数ですが、割合からするとかなりの犬を育成することができました。皆様のおかげだと感謝しています。うちから出た介助犬で、2頭は仕事を終えて戻ってきました。犬は無償貸与ですので、戻ってきた後も一所懸命面倒をみます。障がい者のために我々ができること。犬を作るのはもちろんですが、障がい者の社会参加のために、作った犬を使っていたら家庭や社会で活動していただくのが目標です。希望者がいらしてもキャンセルになったり、合わせられなかったりすることもあります。とにかくひたむきに犬を作っています。

NPO法人ですので、利益を上げての仕事はできません。寄付や募金で運営を賄っています。犬を作るには1頭当たり約300～400万円かかります。それをユーザーには無償でお出ししています。国や県から1頭当たり100～150万円贈呈されますが、どちらにしても常にマイナスの状況です。犬が社会で認められるような活動もして募金をいただいたりもしています。今日も募金箱を回させていただきますので、よろしくお願いします。

では訓練された犬が何をするのかを実際見ていただきたいと思えます。介助犬と聴導犬を連れてきましたので、動きをよくご覧になってください。



私はロータリークラブを始め、学校や福祉施設などでデモンストレーションをお見せするボランティアスタッフで、何うのは今日で2回目になります。最初にクイズです。2002年に身体障害者補助犬法ができ、介助犬・聴導犬・盲導犬という犬たちが活躍しています。その犬たちの総称を何というでしょう？答えは「補助犬」です。よく店や施設の入り口に貼ってあるシールは『補助犬を受け入れます。入っていいですよ』というマークです。ペットとの大きな違いは、ホテルやレストラン、映画館、交通機関など、どんな施設でも入れる点です。今日はトイレの訓練から始めます。出かける前は合図をしてちゃんとシートでトイレを済ませます。外で粗相をするようなことはありません。これは重要なしつけですので、補助犬が周囲を汚すことはありません。

外出時にはベストを着せます。ユーザーと犬で受ける認定試験は日常に即した状況で行われます。駅を使う方は駅で、エレベーターを使うならエレベーターで試験をします。それに合格すると認定証をもらえます。その認定証を背中やベストなど見やすいところに提示する、それが補助犬の証です。全てのお店で拒否することなく受け入れて欲しいし、働いている方にもご理解いただきたいと思えます。最初に小さなケータイを拾ってみましょう。車椅子から下のものを拾うのは無理ですし、脊椎を傷められている方は筋肉も低下しています。それを他の人に頼んで拾ってもらうのは精神的負担が大きくて、引きこもりがちになったり外出に抵抗を覚えてしまいます。パートナーとして犬が拾ってくれたら、それが些細な動作であっても安心感が自立や社会参加に繋がるのです。コインなどの小さなものも大きなものも拾えます。尻尾を振っているのは嬉しいからで、犬は仕事と思っ



ていません。大好きな飼い主とのゲーム感覚で褒めてもらうことが一番のご褒美です。犬に負担はないの？ストレスが溜まらない？と心配される方がいますが、この子たちは褒められて嬉しいのです。

これが歩く時の基本的な動作です。横に着いて歩くのは当然ですが、段差があれば後ろから押して手助けします。潜って押すことも、横のロープを引っ張ることもできます。障がい者は一人一人、障がいの箇所が違ったり、度合いが違ったりします。その人に合った、その人の生活に合った補助は色々です。家族はいるのか、家屋の環境はどうか、扉はどちら開きか、押戸か引戸か、それら全てのニーズに合わせたオーダーメイドで訓練します。

まずこの扉を開けてもらいましょう。啞えて押し開閉します。ロープを付けたりはユーザーと我々の工夫で、皆で知恵を絞ってやりやすいように考えます。サッシは吸盤をつけて啞えさせたりします。次は靴です。玄関で膝の下に潜って靴を脱がせ、それをきちんと靴箱へしまします。靴下も脱がせて洗濯カゴに入れることができました。そして体を貸して足をステップに乗せやすくします。次は冷蔵庫を開けて、中からものを持ってくる練習です。飲み物を持ってきて、きちんと扉も閉めます。飲み物一つでも障がい者には命に係わることもあり、独居の方は特に助かると思えます。空になった入れ物はゴミ箱に捨てます。この一連の動きは「入れ物を啞えてゴミ箱へ行く」「ゴミ箱のステップを踏む」「開いたら捨てる」「捨てたら戻って来る」という幾つもの課目が合体しています。練習は一つずつやって流れにしていきます。英語で命令するのは、男女差や方言によって犬が混乱しないためです。



次は聴導犬をご覧ください。音の情報を伝える犬です。例えば目覚まし時計、家電製品の終了音、玄関のチャイム、メールの着信音など。そして何がどこで鳴っているかを教えてくれます。聴覚障がいは一見して分かりにくく、誤解されることも少なくありません。聴導犬に免許証を着けて歩けば、周囲の理解や協力も進みます。そういった見えない仕事も重要です。外に出たら寄り添って歩きます。自動車や自転車が近づいた時の、外での危険回避は大切な仕事です。

お願いがあります。今日帰ったら周りの人に補助犬の話伝えてください。普段の生活ではまず見かけないと思えますので、それだけで世間の関心が何倍にもなります。知っていただくことが第一です。これからも補助犬へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

お願いがあります。今日帰ったら周りの人に補助犬の話伝えてください。普段の生活ではまず見かけないと思えますので、それだけで世間の関心が何倍にもなります。知っていただくことが第一です。これからも補助犬へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

